

番号	98	水害復旧記念碑 佐賀縣知事 沖森源一書		
所在地	嬉野市嬉野町大字下野乙 吉田川右岸			
災害別	昭和24年（1949） ジュディス台風 水害			
目的別	記念碑	建立年	昭和25年8月17日	
特記事項	隣に建つ水神の建立は昭和25年8月17日 碑文は一部判読困難			



昭和24年8月のジュディス台風による水害復旧記念碑である。七ツ川内地区から吉田川方向を見れば碑が見える。しかし吉田川に正面を向けて建てられているため何の碑であるかは、あぜ道を通って近づくか対岸から見るほかない。記念碑の碑文も風化して一部判読できない。右側には同じ時に建立された水神を祀ってある。

「昭和二十四年八月中旬西九州を襲ったジュディス颱風は吉田川の増水氾濫を□□し十七日佛曉下吉田區に□□□かった一大惨害を與えた 家屋全流失一半流失二 橋梁流失木橋二石橋一 井堰流失宮瀬、大井出口木原庵津廣瀬 堤防決壊十五ヶ所千八百米 水路決壊大井手宮瀬川原範之浦廣瀬等六百七十九米 町道決



国土地理院電子国土 Web

壊百米 農道決壊千七百九米 被害田流失一町五反埋没十二町一反 區は直ちに水害對策委員會を設け同月十九日より四日間町内各區から延千百四十八人の援助を受け三百三十六米の仮堤防の築造工事に着手し爾來九カ月區當事者の心魂を捧げての奔走指導區民全員の協力一致の奮闘に依り井堰水路は人夫延九千二百八十四人石工延千百六十三人工費九百九十三萬圓を投じコンクリートを以て強化し昭和二十五年四月十九日竣工し同時に堤防に縣營で練石垣橋口梁町營で鉄筋コンクリートとして総工費約三千万圓を要し復旧した。ここに碑を建て之を記念す。森永口口撰」

